高 大園同窓会報

発行
大阪府立園芸高等学校大園同窓会
〒563-0037 池田市八王寺2-5-1
印刷
株式会社 サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
電　話　079-284-1380

校歌

銀杏の木陰　道ひろく
真理にひらく　知慧の門
みのりゆたかに　いま結ぶ
木の実尊き掌　幸ありわれら
われらが腕　土のかおりも
さわやかに

園芸の花咲く箕面公園昆虫館 ＦＦ科のバタフライ協定の取組み進む

大阪府立園芸高校は平成30年度より、近接する大阪府営箕面公園との協働事業として昆虫館運営に協力するため、本校で生産された蝶の食草の提供や花苗を使った花壇実習を内容とした『バタフライ協定』を結んでいます。

協議にあたっては大園同窓会小南会長の調整のもと、本校からは足立農場長、そして箕面公園からは指定管理者のメンバーである株式会社田中造園土木の田中明男社長（造園科25期）が準備に当たりました。協定の内容は園芸高校の教育的意義を尊重し、栽培技術の向上と園芸高校の生産品を使用し生徒たちの社会貢献の推進を目的にしたものとなっています。

昨年度は平成30年11月に、本校農場育ちのパンジーを使った春花壇と放蝶園での花鉢を使ったクリスマスの演出を行ないました。

2年目になる令和元年6月には、昨秋同様に本校育ちのマリーゴールドを主体とした夏花壇として、昆虫館のからくり時計前に植え込み、放蝶園２階植桝の模様替えも生徒たちがアイデアを出し合って進めています。

作業当日は、実習体験実習服に身を固めた生徒たちの姿に公園を訪れた方々も思わず足を止めて、作業を見守る光景も見受けられ、参加した生徒達にとっても、校内の作業とはひと味違ったよき実習体験になったと思います。

作業終了後には互いの現場を確認し合い、各々の感想も話し合って実り多き一日となりました。

次回の作業は本年秋を予定しています。

… 令和２年度　大園同窓会総会のご案内 …

日　　時：**令和２年３月１日（日）11：00開会**
総会会場：**大阪府立園芸高等学校 本館１階会議室**
議　　題：**事業報告・会計報告・110周年に向けての事業計画**
懇親会会場：**池田市民会館 １階 レストラン Bridge 宴会場 13：00開会**

昨年より総会会場を母校本館1階会議室、懇親会を池田市民会館にて開催することと致しましたので、同窓生お誘いあわせの上、奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

創立記念祭のご案内

日時：11月10日（日）10時～15時

当日は、11時より実習庭園内同窓会館にて紅茶、コーヒーを用意させて頂いております。

同窓生連立ってお気軽にお立ち寄りください。

同会館にて住所変更や同窓生のご住所などお判りでしたらご登録ください。

学校・PTAとさらなる連携を

ご挨拶

大園同窓会　会長　小南　修身

大園同窓会会員の皆様におかれましてはますますご清栄にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年9月4日に関西圏に甚大な災害をもたらした超大型台風21号は、府立園芸高等学校にも多大な被害を与え、とりわけ本校の顔であり、貴重な財産でもあります「実習庭園」における被害は、目を覆うものとなりました。昨年この会報紙において、私たちが在校当時に実習の場や語らいの場として親しんだこの実習庭園の復旧支援を、同窓会会員の皆様にお願いしましたところ、総額100万円を超える金員をお送りいただきました。改めまして貴重なご支援を賜りましたことにお礼を申し上げます。

日時がかかりましたが、教職員や生徒の手で倒木や破損した樹木の撤去作業が完了しましたので、今後、園芸高等学校環境緑化科をメインとする実習庭園復旧計画に対する支援方法を協議し、今冬から来春にかけて皆様よりいただきました貴重な支援金を、復旧の一部費用とさせていただく予定です。

また、皆様方の財産でもあります小原豊雲先生（初代会長）により寄付建設されました同窓会館につきましては、ほぼ改修工事が完了し、残すはトイレや台所・風呂場等の排水処理事業の実施ですが、これには多額の工事費が必要とされます。基本的には私たち大園同窓会にて事業を行わなければなりませんが、この事業を同窓会会費の収入にて賄うには困難な状況であります。と言いますのが年会費を納入していただいている会員数が減少し、同窓会運営について年1回の同窓会報の発行・発送費にも苦慮する現状でもありますので、公私とも物入りのところですが、改めて会員諸兄の同窓会費の納入をお願いするものでございます。

近年の園芸高等学校の生徒はその活躍が目覚ましく、本年におきましてもユースカンファレンス（高校生を対象とした「探求学習」）において、「菊栽培～挿し芽の新技術から海外輸出まで～」で金賞、「コチョウラン根端からの個体再生～PLB誘導から増殖まで」で銀賞を受賞するなど、全国各種発表会において上位の成績をあげ、大阪府立園芸高等学校ここに有りを実践してくれています。

私たち大園同窓会においても、役員一丸となって生徒を中心とした母校が、より発展していただきますようにおしまずに助力を致す所存ですので、今まで同様同窓会会員皆様方のより一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

大阪府立園芸高等学校　校長　真鍋　政明

大園同窓会会員の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育活動に対しまして、多大なご協力とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

本校は、昨年9月の台風21号により、ビニルハウス壊滅、老朽化した温室のガラスの破損、実習庭園での倒木等…様々な被害を受けました。大園同窓会におかれましては、災害復旧支援金を募っていただくなど、多大なご支援を賜りましたこと、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

ところで、昨年6月の大阪北部地震の被害を踏まえ、本年度学校周りのすべてのブロック塀をネットフェンスに建て替える工事を進めているところです。ネットフェンスの設置により外部から学校内部（施設・生徒・教職員）が見えるようになりました。このことを開かれた学校づくりに向けてのチャンスと捉え、地域から注目される魅力ある学校づくりにつなげてまいりたいと考えています。

さて、本校校長といたしまして2年目を迎えました。この間、微力ながら、地域や企業、大学、農政等との連携・協働による実践的な学びを積極的に推進するとともに、ホームページのリニューアルをはじめ、あらゆる手段を利用、活用し、魅力ある教育の発信に力を注いでまいりました。

今後も「確かな学力の育成」「安全安心で魅力ある学校づくり」「夢と志を持つ生徒の育成」をめざし、本校のさらなる飛躍と発展に向けて、まい進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

さて、本校での技能教育につきまして、技能検定をつかさどる能力開発協会から高く評価していただき、このたび高校では初めてとなる「感謝状」をいただくことになりました。フラワーファクトリ科では、フラワー装飾における2級及び3級技能検定（国家検定）の取得、技能五輪フラワー装飾部門、全国産業教育フェアへの出場・入賞等をめざし、頑張っています。さらに環境緑化科では、造園における2級及び3級技能検定（国家検定）の取得、技能五輪や若年者ものづくりコンテストの造園部門への出場・入賞等をめざし、熱心に講習を行っています。その結果として、高校生では取得が困難な2級技能検定の取得や、大阪代表として、ほぼ毎年のように技能五輪に出場するなど、顕著な成果を上げています。この「感謝状」の授与をモチベーションの高揚に変え、これからも、技能教育・ものづくり教育を一層推進し、産業界を担う人材育成に努めてまいりたいと思います。

創立104年を迎える本校ですが、あらためて農業高校としての機能を最大限に活かし、社会や産業の発展に貢献できる人材を育成することにより、地域に信頼され、誇りとされる学校をめざしてまいります。同窓会の皆様方には、母校の発展のために、種々のお力添えを賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

ごあいさつ

大阪府立園芸高等学校　令和元年度
PTA会長　藤山　昭宏

平成30年度会長の田井中陽子より本年4月にPTA会長を引き継ぎました藤山昭宏です。宜しくお願い致します。

私は平成2年度に環境緑化科を卒業しましたが、我が子も園芸高校に入学しましたので、私自身も「二度目の学園生活が出来、また記念祭に参加したい」という軽い気持ちでPTA活動に参加しました。

私が卒業後に就職した造園会社で沢山のよき先輩方と出逢って随分可愛がって頂いたことを振り返り、自分が後輩たちに何か出来ることは無いだろうか、そして私自身が在学中に存在すら意識もしなかったPTAの方々が陰ながら自分たちのために活動して頂いていたことを思うと、最初はPTA会長をお引き受け出来るかどうか、随分悩みましたが、母校のために少しでも力になればと思い、お引き受けさせて頂きました次第です。

さて、PTAの活動ですが、広報委員は生徒達の授業内容やクラブ活動、PTAの活動を伝え、文化委員は各学年の特徴を活かしたイベントやブドウ狩りなどの行事をまとめ、記念祭委員は創立記念祭でバザーの販売を行います。創立記念祭当日は長蛇の列が出来るほどの賑わいで、この日の収益金が生徒達の活動資金にもなりますので皆が力を合わせて活動しています。

平成31年（令和元年）度大園同窓会総会報告

平成31年度大園同窓会が、平成31年1月27日（日）午前11時より大阪府立園芸高等学校　本館１階会議室にて、懇親会が午後1時30分より池田市民文化会館レストランBridgeにて開催されました。

・小南会長挨拶

・真鍋学校長挨拶

小南会長と真鍋学校長より、台風21号被害復旧に伴う支援金につき、100万円近い浄財を頂いたことへの深謝と、使途につきましては、同窓会館の屋根復旧と実習庭園の樹木復旧は学校と相談の上、計画を立てて実施する方向であることの説明がなされました。

《議案》

一号議案　平成30年度・事業報告および会計報告ならびに平成31年度事業計画について

植木事務局長より、同議案について以下の説明がなされました。

平成30年度　事業報告

実施日	事業実績
１月14日	第１回役員会
１月28日	第２回役員会・総会（大阪府立園芸高等学校会議室）
２月27日	第70回生同窓会入会式（小南会長）
３月31日	第３回役員会・幹事会
７月14日	会報編集会議
８月４日	第４回役員会
10月15日	会報第42号発行
11月11日	創立記念祭　第５回役員会
平成31年１月12日	第６回役員会・幹事会
平成31年１月27日	総会（大阪府立園芸高等学校会議室）

平成31年（令和元年）度　事業予定

実施予定日	事業予定
１月14日	第１回役員会
１月27日	第２回役員会・総会（大阪府立園芸高等学校会議室）
２月27日	平成30年度生同窓会入会式（同窓会事務局）
２月28日	平成30年度卒業式
４月中旬	第３回役員会
７月中旬	会報編集会議
７月下旬	第４回役員会・幹事会
10月１日	会報第43号発行
11月10日	創立記念祭　第５回役員会
12月上旬	第６回役員会・幹事会
令和２年３月１日	総会（大阪府立園芸高等学校会議室）

「次年度総会の開催時期については、当該年度の卒業生といえども３月31日までは同窓会員ではないが、大園同窓会がどういう組織であるか、どういう活動をしているのかを理解いただくために、会員並みの待遇として出席できる総会にしたいと考えており、将来の大園同窓会の地盤固めをするための事案としてご了解いただきたい。」との説明の後、議長による採決が行われ、賛成多数により一号議案は承認されました。

二号議案　平成30年度・会計報告

樫原会計による報告と谷端監事による監査報告がなされました。

項目	収入	支出	残高（次年度へ繰越）
前年度繰越金	2,311,520		
その他収入及び支出	2,361,339	1,686,957	
計	4,672,859	1,686,957	2,985,902

上記説明の後、議長による採決が行われ、賛成多数により二号議案は承認されました。

三号議案　会則の一部改訂について

先程、ご承認を頂いた一号議案にともなう会則の一部改訂として、『（会員）第５条３　本会は、新規卒業生（卒業予定者）を総会に招待するものとする』を改定案として提案されました。

上記説明の後、『卒業予定者』という文章表現に修正することで、議長による採決が行われ、賛成多数により三号議案は承認されました。

その他

・園芸高校より

足立教諭より『日本学校農業クラブ近畿大会』の支援金の御礼がなされました。

事務局より

・植木事務局長より、台風21号襲来により学校に被害があり、復興支援金を募るため会報の記事を再校正し、発行と総会案内の遅配に対しお詫びがなされました。

・添付資料の『大園同窓会　創立110周年に向けての活動方針』に基づいて説明がなされました。

・真鍋校長の取り計らいにより、今まで㈱サラトに移管していたHPとHP管理会社を学校と一緒に管理していただくことにより、１万円台の管理料で済むことになるため変更することといたしました。今後HPも徐々にリニューアルすることにして、住所変更や逝去、配送不要や未配送、同窓会開催連絡等も可能となりました。

・HPにバナー広告も掲載したいのでご協力をお願いしたい。

・古い写真の提供や卒業アルバムを学校に寄付していただきたい。

・同窓会費の収入が少なく、特に若い卒業生からの入金が少ない。各支部や同期の同窓会など積極的な活動を展開していただきたい。

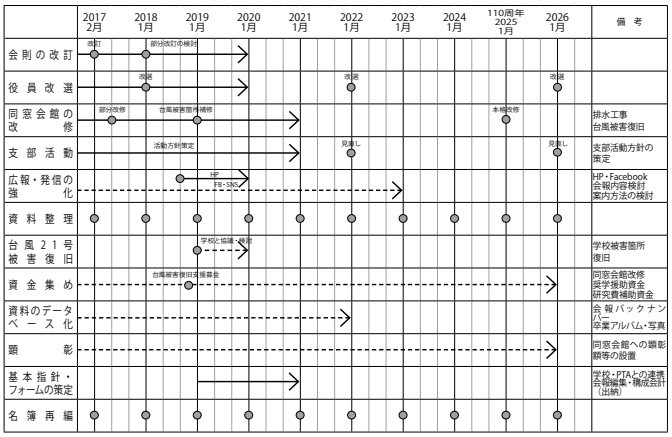
・学校では学校説明会などを開いて、近隣地域なども含め入学生の応募を積極定期に展開している。卒業生のご協力と後押しを是非お願いしたい。

・『大園同窓会　同窓会総会出席者　連絡確認表』について、山本副会長より説明がなされました。

懇親会について

最後に総会後の午後1時30分より池田市民文化会館内レストランBridgeにて開催の懇親会の案内がなされ、無事に総会が終了しました。

大園同窓会　創立 110 周年に向けての活動方針　　平成31年1月



外周ブロック塀の撤去工事が始まる

大阪北部地震時に高槻市の小学生がブロック塀の倒壊によりなくなられたことから、大阪府内の小中高校全てのブロック塀が順次撤去されています。本校においても同塀の耐震強度見直しに伴い、外周ブロック塀の撤去工事が来年１月31日までの期間で、本年７月１日より着工されています。本校で行われている工事はブロックの基礎部分を残し、その上にフェンスを設置するという方法です。学校の周囲に設置されている全てのブロックを撤去するため、かなり大規模な工事です。

ブロック塀の撤去は本校が今まで長年に渡り要望していた工事ですが、トラノツメもこの工事で撤去されてしまい残念です。また、フェンスにつる性植物を這わすことも禁止されています。設置されているフェンスに植物がからむと倒壊する恐れがあるためです。

フェンスに代わると校内は丸見えになります。今までさほど気にならなかったのですが、これからは気をつけて管理する必要があります。

トラノツメの思い出

大阪工業大学の辻幸治教授が昭和53年７月に南アフリカ共和国ランド・アフリカン大学で開催された国際会議に参加されたとき、ネコノツメというつる性植物が街中に植栽されていることを見られた。そこで、この植物を日本でも栽培できないかと思われ、種子を手に入れられ、自宅で栽培された。

昭和57年５月には黄色の花が咲き、つる性植物として有望であると判断された。そして、この花の挿し木繁殖に取り組まれた。昭和60年５月21日の朝日新聞朝刊にネコノツメについての説明とこの苗を100株無償で配布するという記事が掲載された。

本校園芸科ではグランドカバープランツの研究を行っており、どうしてもこの植物を手に入れたいため、辻教授に連絡して自宅に伺った。そして、さし穂をいただくとともに、この苗を希望されている１，５００名の方にも配布するため、本校で苗づくりを行うことにした。

昭和60年６月に本校で挿し木し、出来上がった苗を本校で配布した。

また、国際花と緑の博覧会協会からも苗の栽培依頼があり、２，０００ポットを配布した。これらの苗は岩原幸子部長（３年）を中心とする草花クラブの生徒達の手で育てられたことが、昭和63年４月25日の産経新聞朝刊に掲載された。

本校には正門横のブロック塀の根元に植栽され、ブロック塀を被うようになり、今では毎年花を咲かせている。

卒業生からの近況報告

海外便り

〈手紙を要約しました〉

佐野　昭彦（園芸科12期）
サンパウロ在住　78歳

3月22日に昨年の会報をお送り頂き、学校の様子も詳しく伺いました。

この3月14日に、元気に78歳の誕生日を迎えました。

昭和35年（1960年）4月2日に神戸港を離れ、明年で実に60年を迎えます。こんなに命を長らえるとは夢にも思わず、今日あるとはびっくりです。やはり多くの先生や友人の温かい支えがあってのことと感謝でいっぱいです。

私の両親は、戦時中トラック島に居り、そこで昭和16年（1941年）に生まれました。昭和18年末に母の里、出雲に帰国し、その後、甲子園の近くで商売をしていました。父の里が東北・石巻で、2011年3月の震災では、親戚の多くが被災しました。恐ろしい地震・津波でした。

両親は、一時期同居するとのことでブラジルに来ましたが、なにせ外国。気候も食べ物も全く異なり、体が受け付けなくなって5年で日本に帰りました。

私が移民した1960年頃は、ブラジル移民が一番多い頃で、年間7，000人が渡ってきました。その頃の移民も高齢となり、日本同様サンパウロを初め、どこもかしこもお年寄りばかりです。私もその部類ですが、毎日カトレアの畑に出かけ汗を流しています。

ブラジルの人達は、宗教や習慣の関係か大変優しく、経済や教育は日本の方が優れているかも知れないが、他人への思いやりや温かさは素晴らしいものです。近頃は、中国系や朝鮮系の人が増えています。いつの日か、園芸高校卒業の方々が旅して頂けたら嬉しいものです。大歓迎です。お知らせ下さい。

今まで6回帰国旅行をしました。まだまだ足腰も元気ですので、ゆっくりポルトガル、イタリア、オランダなどに行ってみようと計画中です。

懐かしい村山忠亮、吉田徳治、高松太、金崎一夫先生も、両親も、皆、天に居られます。皆様も体に気を付けて、長生きして下さい。

どうか、学校や後輩のためにご尽力下さい。知り合いの方々、お便り下さい。また、ブラジルやアルゼンチンに渡った方の氏名・住所が分かれば、教えて下さい。

（文責　山本正）

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

海外の庭仕事

田中　明男（造園科25期）

昨年（2018年）7月末に、友人である台湾の林海平（リンハイピン）氏から「台中の花博で日本庭園をつくろう！」との電話。これが事の始まりでした。

彼には2010年の台北花博にインドアガーデンを出展した折にお世話になった事もあり、業界団体（東京本部）との調整も済ませてお盆休みに台湾へ。

現地では、主催となる台中市政府、花博協会からの説明と案内を受けました。

『2018台中フローラ世界博覧会　森林園区出展　日本庭園』の作庭、これが私に与えられた課題でした。とにかく台湾での300㎡の日本庭園づくりなので、やるからには憧れの回遊式池泉庭園とし、テーマは『水の七変化　流落溜湧走踊遊』に決定。帰国前夜、燃える思いを滾らせて鉛筆を走らせました。

台風で閉鎖していた関西国際空港も何とかオープンしたので再度現地へ。マネージメントは林氏、作庭は株式会社田中造園土木。施工は5人2週間で無事に完成しました。

11月3日には無事開会式を迎え、そして今年4月23日の閉会式の際には、庭園景観部門の金メダルを受賞する事が出来ました。

台中市長からの結果発表と金メダルの拝受は、作業を伴にしてくれたメンバーへの感謝とともに一生の佳き思い出となりました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

技能五輪出場

石坂　暢琢（環境緑化科67期）

昨年11月に沖縄県で開催された第56回技能五輪2018の造園部門で優勝し、令和元年8月22日からロシア連邦のカザンで開催の「第45回技能五輪国際大会 World Skills International」造園部門日本代表として出場し、4位入賞しました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

「未来の子供たちの笑顔のために」

石坂　拓司（造園科35期）

私は兵庫県西宮市苦楽園で造園会社「株式会社　季節の詩」を開業し、住宅の庭、店舗の庭空間、屋上庭園、寺院の庭空間、茶庭、マンションのベランダガーデンなど一年中庭空間造りをしています。お客様の声を聞いては平面図やパースを描き、模型を作り、その土地に合う土作りをして石を積み、水空間を造り、植物を植え付け育てています。

住宅の庭作りにおいては『家族の絆がつながる庭作り』をモットーに、できるだけ家族の皆様にも庭作りに参加して頂いて一緒に木を植えたり、石を据えたり、レンガを敷いたりと家族参加型の庭作りをしています。

最近は各地で『園芸講座のセミナー講師』としてお声をかけて頂

く機会がたくさんあります。西宮市や大阪市の中学からは、「いのちの授業」という形で一日時間を頂いて、午前は花の寄せ植えと座学、午後からは校庭の庭木の剪定を行い、中学生たちに植物の魅力と働くことの楽しさ、チームワークの大切さや命の尊さを庭仕事しながら楽しく伝えています。

また、今年の一月からは、インターネットラジオ「radicro」の「庭のソムリエ石坂拓司のこれでいいのだ」という番組で二十四節気七十二候の魅力を伝え、「今はこういう季節でこんな美しい花が咲いていますよ」という感じで、植物の話を中心に一般の方に少しでも植物の魅力を共有できればとラジオパーソナリティを務めています。毎週日曜日夜二十二時三十分～二十三時まで　http://www.radicro.com/です。お時間が合えば是非聴いてください。

庭師としての私の役割は、庭仕事を通して植物の魅力を伝え、先人たちが暮らした素敵な知恵や愛を次の時代の子供たちに伝えることで、スピード感あふれる現代という今の時代を生きる皆さんの日々の暮らしに植物を通して心の潤いを感じて頂くことです。

我々大人が、子供たちが、今よりもっと身近に土に触れ、森に入り、自然に触れ、水を大切にすれば、より優しい社会が生れます。植物に触れることで心に余裕が出来、より素敵な時間を過ごして頂けます。

庭空間は家族にとっての憩いの場であり、学びの場であり、明日への活力の場です。イキイキ生きる植物たちの恩恵を毎日受けながら私自身ももっと勉強し、若い園芸家や庭師さんたちと一緒に未来の子供たちの笑顔のために新しい時代の庭を創り続けてまいります。

最後に今年で五十六歳を迎えますが、あらためて大阪府立園芸高等学校でたくさん学ばせて頂きましたこと、本当にありがとうございました。皆様、今後ともよろしくお願い致します。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

母校と共に守る地域資源の「実生ゆず」を活かす身近なSDGs活動

岡山　栄子（造園科39期）

私がゆずに興味を持ったのは、平成21年に地元である大阪府箕面市が地域資源活用プロジェクトとして、「箕面の実生ゆず」を認定したことがきっかけでした。

現在、日本国内で流通している「ゆず」は、接ぎ木栽培が生産の大半を占めていますが、無農薬の自然農法で育てられた「実生ゆず」は生命力が強いうえ、香りが高く、味も濃いのです。接ぎ木ゆず一個の果実の重さが50～60ｇに対し、実生ゆずは約100ｇ。果皮も肉厚で大きいのが特徴です。しかし、鋭い棘によって傷がついた果実は、見た目が悪く、僅か10ccの果汁を絞った後の残渣果実は廃棄されていました。廃棄されている「ゆず」の90％の残渣果実から原料を抽出できないかを思案していた頃、奇しくも平成22年、園芸高校100周年を迎える節目に、各科の代表生徒が共同でアロマ蒸留実験作業を行う企画を地元企業として労働協会から受託することになり、卒業して24年ぶりに母校の門をくぐりました。その中で「実生ゆず」の魅力を学生に伝え、理科実験室で様々な抽出方法の実験を行った結果、水蒸気蒸留法による抽出が最も適切であることができたのです。と進むことができたのです。

SUSTAINABULE DEVELOPMENT GOALS（持続可能な開発目標）

従来から行われてきた再利用といった形式のリサイクルとは異なり、私達はコスメ原料としての優位性を最大限活かして価値の高いモノを生み出し、持続可能なものづくりの新たな方法論を意識して、特に①つくる責任、つかう責任②陸の豊かさも守ろうという2つの項目に取り組んでいます。

生産者の高齢化に伴い生産が衰退の一途を辿っていることへの認識とともに、昨年の収穫期に先生や学生と共に産地へ足を運んで収穫のお手伝いができたことで、持続可能な地域資源の環境保全の可能性を感じています。

大園同窓会事務局よりのお願い

1．会員データ登録のお願い

会員の現住所等の基本データは、会則に則って㈱サラトにて管理されております。しかしながら、登録更新の連絡がなく、多くの卒業生・教職員関係者が不明扱いになっております。この会報が届いている方以外は、殆どが未登録状態です。幹事の皆様を初め、個々の方々も変更の連絡、又は、変更登録の呼びかけをお願い致します。（連絡先はＰ８をご覧下さい。）

2．会員データのご提供

学年やクラスの同窓会を開催される場合、幹事若しくは複数名の関係者の連名でお申し込み頂ければ、当該学年やクラスや恩師のデータの一部を提供させて頂きます。

お申し込みのあった方々の確認作業を行った上で、お送り致します。

3．大園同窓会・幹事会を開催します。是非ともご参集下さい。

現在、幹事の委嘱作業を進めています。卒業生の各学年に設置する予定です。既に了解を頂いた方々も多数おられますが、まだまだ不足しております。ふるってご参加下さい。

4．大園同窓会ホームページをリニューアルしています。
是非アクセスして下さい。

同窓会員の交流の場として、また、情報交換の場としてホームページを開設しておりますが、より親しまれるようにリニューアルしております。

コンテンツの充実、アクセスの多様化などを検討しております。卒業生だけではなく、恩師や教職員関係者の方々のアクセス並びに登録を宜しくお願いします。

園芸高校生徒活動近況報告

第56回技能五輪全国大会にてフラワーファクトリ科1名が敢闘賞受賞

平成30年11月2日～5日沖縄県で第56回技能五輪全国大会が開催されました。本校からは、環境緑化科2名が造園部門に、フラワーファクトリ科3名がフラワー装飾部門に大阪府代表として出場しましたが、フラワー装飾において、1名が敢闘賞を受賞しました。

この大会は各都道府県から選抜された原則23才以下の若者達が、技能レベルの日本一を競う大会で、一年に一度開催されているものです。フラワー装飾部門で大阪府代表として出場するためには、7月上旬にあるフラワー装飾技能検定2級の実技試験を高得点で合格する必要がありますが、3名とも見事にこの条件をクリアして出場が決まりました。大会での入賞を目指して2年以上もの間、放課後や休日を返上して練習してきましたが、各都道府県から選抜された出場選手69名の中で敢闘賞（9位）を受賞出来たことは、本当に凄いことです。フラワー装飾部門で技能五輪に出場して3回目になりますが、初めての入賞で、生徒の今までやってきた努力が実り嬉しく思っております。また、次回以降についても五輪出場を果たすことは当然の目標であり、敢闘賞以上の賞の受賞をめざしていきたいと思っています。

環境緑化科

本科の実習庭園は、昨年襲来した台風の強風で樹木が倒れたり、幹が裂けるなどの倒木や無数の折れた枝葉で惨憺たる有様となりました。その後、本科生徒たちが中心となって庭園の復旧にあたり、創立記念祭で市民へ開放できるまでに回復しました。実習庭園は歴代の生徒さんたちの努力の積み重ねでつくられていることを改めて実感しました。

本科は造園技術・技能の習得が特色ですが、今年度も30名余りの生徒が2級、3級の造園技能士を目指して実技や筆記の講習に熱心に取り組んでいます。特に実技は制限時間内に竹垣、敷石、植栽や整地行い小庭園を完成させるもので、検定試験が盛夏に実施されるため、合格には技術はもちろん猛暑を乗り越える体力と気力が要求されます。2級に先立って3級造園技能検定の実技試験が7月中旬に実施されました。（写真）。結果が楽しみです。

バタフライガーデン造りませんか？

平成17年に梅田スカイビル公開緑地にバタフライガーデンが造られたが、このときに城山高校（平成20年3月末日閉校）から蝶の食餌植物と吸蜜植物が提供されました。城山高校の苗圃で栽培されていた5,000ポット以上の苗が廃棄されることなく活用されました。

梅田スカイビルだけでなく、大阪狭山市狭山池公園、兵庫県伊丹市笹原公園、箕面森町にもこれらの苗が提供され、苗圃の苗をすべてなくすことができました。

環境緑化科はビオトープやバタフライガーデンに関する機能統合先であり、城山高校の取り組みを継承して、バタフライガーデン用植物の栽培に取り組んでいます。残念ながらこの取り組みも平成31年度をもって終了することになりました。苗圃や温室には1ヶ所のみバタフライガーデンを造れる苗が残しています。

卒業生の方でバタフライガーデンを造りたいと思っておられる方は環境緑化科までご連絡ください。個人には提供しませんが、企業、公共団体、環境団体等の団体には無償でお渡しします。希望者が多いときはこちらで選考させていただきます。

なお、苗は本校まで取りにきていただくことが前提になります。

フラワーファクトリ科 菊鉢物班が研究文で全国最優秀!!

産業教育振興中央会主催の専門高校生徒の研究文コンクールで在校生が全国で最優秀賞を受賞しました。このコンテストは農業だけでなく、工業、商業、家庭科、総合学科等の専門高校生を対象にしたもので園芸高校だけでも3つの研究文を応募しています。そのうちの一つが大阪代表作品となり、全国各道府県の代表作品と競って日本一になりました。内容は菊のさし芽を行う時に挿し穂を冷蔵した後、インドール酪酸に浸けて、ロックウールに挿すと発根率が向上すること。その苗を韓国に送って、花が咲いたことをまとめたものです。韓国の栽培は卒業生の力を借りて実現しました。在校生、卒業生の力を合わせての受賞です。

大園同窓会箕面支部を通して箕面市へ花苗の寄贈

10連休間近の4月23日（火）、箕面市にマリーゴールド、オステオスペルマム、ブルーデージーの花苗1,500ポットを寄贈しました。これは本校同窓会を通しての

イベントで今年で17年目となる恒例行事です。フラワーファクトリ科園芸デザイン班、草花班が栽培してきた花が箕面市内の保育園、公園などに植栽されました。

バイオサイエンス科 韓国からの訪問

7月17日に韓国ジョンラ南道にあるジョンナム自然科学高校の生徒16名と先生6名が本校を訪問されました。

食堂でペットボトルの飲料を各自で選んでもらい、会議室にて学校長のあいさつをはじめ、生徒会長のあいさつ、簡単な学校説明につづいて、今回来訪された生徒の多くが食品について学んでいることから、バイオサイエンス科施設を案内しました。

見学終了後には記念品の交換や生徒たちからの質疑応答など、楽しい交流の時間を過ごすことができました。

僅か1時間余りの短い時間でした

が、韓国の高校生たちの素直な姿を見ることができ、とても有意義な時間を共有することができました。

ジュニア農芸化学会2019にて研究発表

3月25日（月）東京農業大学世田谷キャンパスにおいて、バイオサイエンス科微生物部が「土壌放線菌の分離と抗菌活性に関する研究」でポスター発表を行いました。全国から75校の研究発表があり、「発表環境がすばらしく、300名の聴衆に驚きました。」「全国の高校生と交流を深めることができて大いに参考になりました。」「今回、はじめて原稿を用いない発表ができて、達成感を感じることができました。」など部員の感想にみられるように大変有意義な機会になり貴重な経験となりました。

支部だより（箕面支部）

花苗を箕面市へ寄贈

今年で20年になりました

大園同窓会箕面支部は、平成10年に86名の賛同者を得て設立されました。11月29日に設立総会を開き、中井馨支部長のもと活動が始まりました。支部は、会員相互の親睦を深める活動はもちろんのこと、箕面市民に広く園芸高校の存在を知ってもらうために、花苗の寄贈活動と、箕面市農業祭への参加を大きな2本柱として活発に活動してきました。今回取り上げる花苗の寄贈活動は設立の翌年である平成11年度から『みどりの日』直前の4月下旬に毎年1，000～3，500株ほどを市長立会いのもと寄贈式を行い、20年間で箕面市に寄贈した花苗は延べ3万9，100株になりました。園芸高校の生徒が育ててくれた花苗は毎年市内の保育所・幼稚園に配布され、子供たちの情操教育に役立てられています。今年もマリーゴールド、オステオスペルマム、ヘデラ、ブルーデージの苗1，500株が18ヶ所の保育園、9ヶ所の幼稚園に配布され、子供たちが元気に植え付けてくれました。花苗の寄贈事業は、支部の会計に残金がある間は続ける予定です。

コンテスト結果

産業教育中央振興会　専門高等学校生徒の研究文コンクール
　全国最優秀賞
技能五輪全国大会　フラワー装飾
　敢闘賞
日本フラワーデザイン協会全国高校生フラワーアレンジコンテスト
　審査員特別賞
日本菊花全国大会
　特作花壇の部　和泉市議会議長賞
　三本仕立ての部　優秀賞
全国高校生フラワーアレンジバトル
　準優勝
　優秀賞
全国学校・園庭ビオトープコンクール
　奨励賞
森林林業交流研究発表会
　審査員特別賞
　奨励賞
高校環境科学賞
花高合戦2018
　準優勝
IBLユースカンファレンス（探求学習研究発表会）
　金賞
大阪府学生科学賞　優秀賞1チーム
　佳作　3チーム
　学校賞
大阪府生徒研究発表会（大阪サイエンスデイ）
　金賞
学校農業クラブ大阪府大会意見発表
　Ⅲ類最優秀賞　近畿大会出場
学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技会
　優秀賞5名

資格試験

造園技能士2級　1名
フラワー装飾技能士2級　2名
日本情報処理検定協会日本語ワープロ検定1級　1名
日本情報処理検定協会情報処理検定（表計算）1級　1名

生物分類技能検定（4級）が行われました

2019年6月23日（日）午前10時から12時まで行われました。
環境緑化科3年8名、2年3名、バイオサイエンス科3年1名、1年1名の合計13名が受検しました。
4級の問題は生物分類に関する基礎的な出題が多いですが、それでも難しい問題もありました。全員合格してほしいと願っています。

頑張っている生徒たち（表彰）

フラワーファクトリ科

全国専門高等学校研究文コンクール　最優秀賞
第4回高校生フラワーアレンジメントバトル　準優勝
第14回NFD全国高校生フラワーデザインコンテスト
　審査員特別賞
　審査員ノミネート賞
第31回フラワーアレンジメントコンテスト　大阪府技能士会連合賞
　JFフラワー＆ロジ賞
第56回技能五輪全国大会（フラワー装飾）　敢闘賞

環境緑化科

日本昆虫学会　小中高校生ポスター発表会　ポスター賞　2本
中央大学　地球環境論文賞　入選　2本
坊っちゃん科学賞（東京理科大学主催）　佳作
全国学芸サイエンスコンクール
　科学論文の部　入選
　小論文の部　入選
大阪府統計グラフコンクール　知事賞

バイオサイエンス科

そば甲子園　敢闘賞

頑張っている生徒たち（資格）

農業技術検定　3級　23名
アグリマイスター　ゴールド　3名
　シルバー　4名
ワープロ検定　65名
表計算検定　16名
プレゼンテーション検定　6名
データベース検定3級　2名
フラワー装飾技能検定2級　3名
　3級　5名
造園技能検定2級　4名
　3級　14名
造園施工管理技術検定　筆記　4名
小型車両系建設機械安全衛生教育　29名
刈払い機取扱作業者安全衛生教育　8名
小型移動式クレーン運転技能講習　4名

2018年度進路状況

（主な就職先）

○園芸装飾、農業・造園関係企業
㈱サトウ花店、㈱なにわ花いちば、クリエイティブ・フラワー・コーポレーション㈱、阪神園芸㈱、京阪園芸㈱、大阪北部農業共同組合、㈱JF兵庫県生花、アコーディア・ゴルフ・アセット合同会社、読売ゴルフ㈱、㈱大阪ビル管理、㈱チュウブ関西支社、一般社団法人宝塚ゴルフ倶楽部

○製菓・醸造・食品製造・販売関係企業
第一三共プロファーマ㈱高槻工場、大関㈱、日本盛㈱、ハウスウェルネスフーズ㈱、第一屋製パン㈱、㈱神戸屋、山崎製パン㈱、マリンフード㈱、三栄源エフ・エフ・アイ、日澱化学㈱、㈱蓬莱、㈱喜八洲総本舗㈱、日本クッカリー㈱、㈱鶴屋八幡、㈱サラダクラブ伊丹工場、㈱サンデリカ大阪事業所、㈱エーワンベーカリー

○食品流通・販売関係企業
阪急オアシス、㈱丸北、㈱阪神髭定（マルワグループ）

○工業系製造企業
ダイハツ工業㈱、黒崎播磨㈱名古屋支店、日新製鋼ステンレス鋼管㈱、富士シート㈱、双葉産業㈱、タイキ工業㈱、ボルツ㈱（川西本社）、金森合成樹脂㈱、㈱川村金属製作所

○サービス関係等企業
㈱阪急阪神ホテルズ、㈱朝日エアポートサービス、㈱にしけい、トヨタカローラ新大阪㈱、社会福祉法人ウエル清光会、㈱アヤハディオ、㈱北摂オートバックス、㈱全日警大阪支社、コウノイケ・エアポートサービス株式会社伊丹事業部、㈱キャピタル東洋亭本店、ワタキューセイモア株式会社近畿支店、関西水道用品㈱、㈱アスモ介護サービス、エス・グルーヴ、きしもと装飾

（主な進学先）

国公立大学
鳥取大学　農学部　生命環境農学科（BS科1名）、鳥取環境大学　環境学部（KR科2名）、滋賀県立大学　環境学部　生物資源管理学科（KR科1名）

私立大学
【農業・バイオ・食品関連領域】
近畿大学　農学部　応用生命化学科（BS科1名）、龍谷大学　農学部　資源生物科学科・食料農業システム学科（BS科1名）、京都先端科学大学　バイオ環境学部　食農学科（FF科1名、BS科1名）、南九州大学　環境園芸学部　環境園芸学科（FF科1名、KR科2名）、新潟食料農業大学　食料産業学科（BS科1名）、相愛大学　人間発達学部　発達栄養学科（BS科1名）

【非関連領域】
京都外国語大学　外国語学部　英米学科（KR科1名）、大阪電気通信大学　工学部　電気電子工学科（BS科1名）、大阪人間科学大学　人間科学部　医療心理学科　言語聴覚専攻（BS科1名）、大阪商業大学　商学科（KR科1名）、大阪経済法科大学　法学部法律学科（BS科1名）、大阪成蹊大学　マネジメント学部　スポーツマネジメント学科（FF科1名）、大阪芸術大学　芸術学部　舞台芸術学科　演技演出コース（FF科1名）、大阪人間科学大学　人間科学部　子ども保育学科（BS科1名）、大阪青山大学　健康科学部　子ども教育学科（BS科1名）、大阪国際大学　国際教養学部　国際観光学科（BS科1名）、相愛大学　人文学部　人文学科（BS科2名）、東大阪大学　こども学部　こども学科（KR科1名）

□短期大学
東洋食品工業短期大学　包装食品工学科（BS科1名）、大阪成蹊短期大学　幼児教育学科（FF科1名）、大阪成蹊短期大学　グローバルコミュニケーション学科（FF科1名）、青山短期大学　調理製菓学科　調理コース（FF科1名、BS科1名）、大阪夕陽丘学園短期大学　キャリア創造学科　製菓クリエイトコース（FF科1名）、大阪芸術短期大学部　保育学科（FF科1名）、大阪芸術短期大学部　メディア・芸術学科（FF科1名）

□専門学校
公立
京都府立林業大学校（KR科1名）、なら食と農の魅力創造国際大学校（FF科1名）、和歌山県農林大学校　農学部（FF科1名）、大分県立農業大学校（BS科1名）

私立
【農業・バイオ・食品・調理関連領域】
タキイ研究農場付属　園芸専門学校（FF科1名）、テクノホルティ園芸専門学校　埼玉（BS科1名）、大阪バイオメディカル専門学校　バイオ学科（BS科1名）、大阪バイオメディカル専門学校　バイオ技術学科（BS科1名）、日本分析化学専門学校　生命バイオ分析学科（BS科2名）、近畿測量専門学校　情報測量学科（KR科1名）、辻製菓専門学校　製菓技術マネジメント学科（FF科1名）、大阪調理製菓専門学校　ecole UMEDA（KR科2名）、大阪キャリナリー製菓調理専門学校　製菓・製パン科（FF科1名）

【非関連領域】
行岡医学技術専門学校　看護第一学科（BS科1名）、大阪自動車整備専門学校（BS科1名）、HAL大阪　昼間CG学部（BS科1名）、箕面学園福祉保育専門学校　保育科（FF科1名）、履正社学園医療スポーツ専門学校　スポーツ学科（FF科1名）、ECC国際外語専門学校　海外インターンシップコース（FF科1名）、ル・トーア東亜美容専門学校（FF科1名）、大阪ビジネスカレッジ専門学校（FF科1名）、大原和服専門学園（BS科1名）、大阪法律専門学校（BS科1名）、大阪リゾート&スポーツ専門学校　スポーツ保育科（BS科1名）、大阪ベルエベルビューティ&ブライダル専門学校　メイク・ネイル・エステ科（FF科1名）、大阪ベルエベル美容専門学校　メイク・エステ・ネイル科（BS科1名）、専門学校ESPエンタテインメント大阪（FF科1名）、総合学園ヒューマンアカデミー　パフォーミングアーツ学科　俳優専攻（FF科1名）、駿台観光&外語ビジネス専門学校　旅行専科（BS科1名）　他

平成30年度 同窓会委員と同窓会事務局との顔合わせ

日時　平成31年2月27日　卒業式予行終了後

場所　応接室

参加者
1組　野口紗祥夏　長谷川由希
2組　三村　珠紀　山下　真由
3組　大島　昂汰　中島　威
4組　河野愛咲花　武蔵　日彩
5組　社本　星郁　林　知輝

内容
山本同窓会副会長から大園同窓会の概要と学年幹事の役割等について説明がありました。卒業式予行終了後のHRの間のわずか10分しか時間が取れなかったのですが、熱弁をふるわれていました。

離任の紹介

退職

大西　人志	社会	本校再任用
中村　慶太	社会	本校講師
渡邊　弘志	美術	本校非常勤講師
伊藤　義則	英語	本校再任用
毛戸　淑子	英語	
三船　誠一	農業	本校非常勤講師
山浦　章弘	農業	本校再任用
滝北　恵子	事務	
中井　博	農業	
中野　智彦	農業	奈良県庁
吉野　慎一	農業	教育センター付属高校

離任

田中　宏子	教頭	桜塚高校定時制准校長
田中　舞	数学	千里青雲高校
安田　陽	農業	むらの高等支援学校
堀内　俊樹	農業	貝塚高校
佐伯　純子	養護教諭	茨木工科高校

編集後記

箕面市止止呂美の実生ゆずを使ったポン酢ができた。

大園同窓会副会長ご両名のご尽力により、本校からは校外実習の一環として、実生ゆず収穫作業などのお手伝いをいただき、販売は大園同窓会が行う協働事業になった。

収穫量は1.3t。実生ゆず1個の重量が1kgあるので、1,300個を収穫したことになり、ポン酢の瓶1本にはゆず1個分を絞った果汁が入っている。

全国的にも『実生ゆず』の主要生産地は限られていることから貴重品であり、1本の販売価格は650円と些か値は張るが、売上金の一部は学校に寄付させて頂く予定である。

本年は限定1,300本の販売となる。

当『実生ゆずポン酢』の販売促進が、より学校と『止止呂美の実生ゆず』の知名度の向上、僅かではあるが、ひいては学校の研究費の増加にも寄与出来ると考えている。

卒業生諸氏にも是非ともご購入とご協力をお願い申し上げる次第である。

大園同窓会ホームページ　http://www.daiendosokai.com

同窓会では皆様方の交流の場となりますようホームページを開設しております。
今回ホームページをリニューアルし、IDやパスワードがなくても簡単に誰もが閲覧できるようになりました。
同窓会では、連絡先や住所の変更依頼を当web上でも受け付けられるようになりました。

詳しいご利用方法、お問合せやこのホームページに関するご意見・ご感想は、下記お問合せ先までご連絡ください。
※また、今回より卒業生の経営される会社や勤務先情報、求人広告等をバナーにてリンクできるように受付させて頂くことになりました。
ご希望がありましたら、1社あたり5万円にて当ホームページにバナーを添付し、会報にも広告として掲載させて頂きます。ご応募をお待ちいたしております。

【問い合わせ先】 info@daiendousoukai.comまで

事務局あて先　連絡は郵送かFAX、メールに限ります。電話での問い合わせにはお受けできません。
大阪府立園芸高等学校内　大園同窓会事務局　〒563-0037 大阪府池田市八王寺2-5-1　FAX 072-761-9295